

NEWS LETTER

 第2号
 2013.07

KIT 男女共同参画推進センター通信

6月24日(月)、文部科学省・板東久美子高等教育局長(現 文部科学審議官)をお迎えして、本学「KIT交流サロン」にて、女性研究者懇談会を開催しました。



板東久美子氏 (文部科学省高等教育局長)

本学から6名の女性教員と男女共同参画推進センターのセンター長、コーディネータが出席し、女性研究者の活躍推進や増員、育児・介護期の研究支援員制度、学生のキャリア形成など幅広い見地から意見交換を行いました。

働く場としての本学の環境や男子学生、男性教職員の男女共同参画意識について、板東局長から問いかけがありました。

本学が平成22年度から実施している「男女共同参画教育プログラム」を教員が紹介し、男子学生の関心は高いが、教員の参加者はほぼ同じ顔触れであるという課題が出されました。そのため今年度は、男性教職員向けに、育児や介護を経験している男性講師を招いて、講演会を企画し、意識啓発に結びつけたい旨をセンター長から説明いたしました。

研究支援員制度は、育児・介護との両立に10名の教員の方に利用いただき、その中には男性教員もいること、研究支援員として雇用されている大学院生のキャリア形成にもつながることなど、有用な制度であり、助かっているとの声が教員側からありました。

今後、男性女性教員ともに介護の問題は大きく、「介護は先が見えないだけに精神的にもサポートが必要であり、相談体制があれば心強い」との板東局長のお話を受けて、気軽に相談室を使ってもらう環境づくりと教員の方々の普段からの関係づくりが課題であり、努力していきたいとコーディネータから発言がありました。

また、教員からは子育て、介護に関しては自治体など公的サービスの充実も見逃せないとの意見があり、板東局長からは、「自治体にもよるが、ファミリーサポートなど近年は様々な制度の充実が図られている。大学の支援制度と自治体や民間のサービスも組み合わせ使い、育児期・介護期を乗り切ってほしい」とアドバイスをいただきました。

限られた時間ではありましたが、板東局長、女性教員のみならずと率直な意見交換を行う有意義な機会となりました。今後の本学での男女共同参画推進に役立てていきたいと思っております。



懇談会の様子

両立支援制度の紹介

研究支援員制度

概要

出産・育児や介護期にある女性研究者や配偶者が研究職の男性研究者の研究活動を支援するため、大学院生等を研究支援員として配置することによって、ライフイベント期における研究活動の継続・進展を図る制度です。研究者を支援するとともに、研究支援員のキャリア形成にもつなげていくものです。

利用資格

本学の常勤研究者であって、以下に掲げるいずれかの項目を満たしている方。

- ・妊娠中の女性研究者、または妊娠中の配偶者（研究職に限る）を有する男性研究者
- ・女性研究者、または配偶者（研究職に限る）を有する男性研究者で、小学校6年生までの子どもを養育中の方
- ・女性研究者、または配偶者（研究職に限る）を有する男性研究者で、市区町村から要介護の認定を受けている親族（同居、別居は問わない）を介護している方
- ・その他、上記に準ずる理由により研究活動を行う時間が確保できない方

研究支援員の業務内容

研究者の実験・調査の補助、データの入力・分析、学会資料や報告書類の作成、その他研究業務についての補助など。

研究支援員対象者

- ・大学院博士前期課程修了者、大学院博士後期課程修了者
- ・大学院生又は学部学生
- ・大学、研究機関等において、相当期間、研究活動に従事している又はしていた者

平成24年度利用実績

【利用教員数】 10名（男性2名、女性8名） 【利用事由】 育児等8名 介護2名

制度利用者の声（一例）

教員

研究資料の整理及び文献調査などの業務をおこなってもらい、研究が捗った



子育て中で研究に割ける時間が限られる中、支援員の配置で効率的に研究を進めることができた



支援員の補助のおかげで、論文の執筆やシンポジウムを滞りなく実施できた



支援員（院生等）

研究結果だけではなく、調査や分析の進め方、経過についても知ることができ、研究について深く理解できるようになった



支援員の仕事を通じて、担当以外の分野にも触れる機会ができ、自分の研究方法に役立った



学業に役立つだけではなく、社会人としての基本、時間管理、自己管理の意識を身につけることができた



ご利用、申し込みについては、KIT男女共同参画推進センターへお問い合わせください。

* 研究支援員制度の利用案内や提出書類については、センターHPにも掲載しております。

両立支援相談のご案内

KIT男女共同参画推進センターのコーディネータが、出産・育児・介護などライフイベント上の悩みや相談に応じています。仕事を続けていく上で困ったこと、悩んでいること、気がかりなことなど気軽にご相談ください。両立支援に関する様々な制度や情報提供も行っています。本学の教職員、女子学生の方が利用できます。相談に関しては、守秘義務を順守いたします。

場 所：2号館 南棟 1階 134号室
 相談時間：月～金曜日（祝日除く）9：00～16：30
 申込み：センターHPの申し込みフォーム、メールまたは電話でご連絡ください。
 電 話：075-724-7757（内線 7757）
 メール：sankaku@kit.ac.jp URL http://www.sankaku.kit.ac.jp/



KIT交流サロンのご案内

女性教職員や女子学生の交流の場として、研究（仕事）や育児、介護の情報交換の場として、相談やグループワーク、ランチミーティングなどにご利用ください。

育児や介護、ワークライフバランスに関する図書やDVDを置いています。交流サロンでご覧いただけます。また、貸し出しも行っています。男性教職員の方もご利用いただけます。

○場 所：2号館南棟 1階 133号室
 ○利用時間：月～金曜日（祝日除く）8：30～17：15
 ご利用については、KIT 男女共同参画推進センターへご連絡ください。



図書の紹介
（一例）

「男女共同参画の時代」

「素敵にサイエンス・研究者編 かがやき続ける女性キャリアを目指して」

「理系のお姉さんは苦手ですか？」

「こころとからだの処方箋『働く女性』のライフイベント」

「子育てハッピーアドバイス」

「男たちのワークライフバランス」

「働きざかり 男が介護するとき」

「ケアの社会学」 など

* 図書リストはセンターHPに掲載しております。



『男たちのワークライフバランス』

（ヒューマンリネサンス研究所 編）

仕事と子育ての両立。これまでどっぴら女性が悩んできたことを男性も悩んでいる。仕事をしてナンボの男性の本音や弱音に共感を覚えました。（40代職員）

『子育てハッピーアドバイス』（明橋 大二 著）

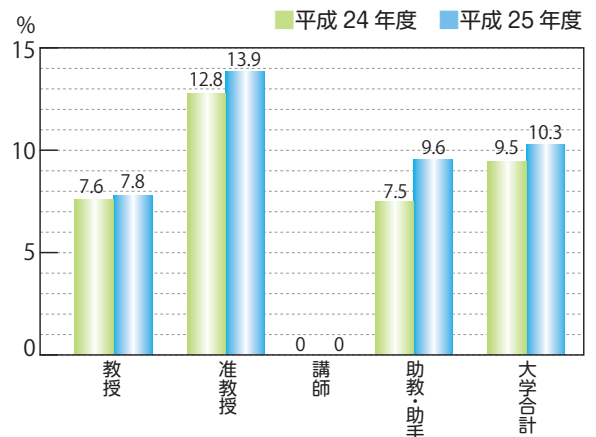
子育ての良い例悪い例が具体的に参考になった。がんばってしまいがちですが、もっと楽しく考えようと言ってもらった気がしました。（30代職員）

女性研究者のデータ 本学の女性研究者のデータを紹介します。

女性研究者の職名別在籍比率

* 5月1日現在

職名	平成24年度			平成25年度		
	教員(人)	女性(人)	女性/全体(%)	教員(人)	女性(人)	女性/全体(%)
教授	132	10	7.6	129	10	7.8
准教授	109	14	12.8	108	15	13.9
講師	1	0	0	2	0	0
助教・助手	53	4	7.5	52	5	9.6
大学合計	295	28	9.5	291	30	10.3



活動報告

● 女性教員との交流会を開催しました

平成 25 年 5 月 31 日（金）、本学での男女共同参画推進や学生に対する意識啓発、キャリア形成などについて、KIT 交流サロンで女性教員の方々と意見交換を行いました。なごやかな雰囲気の中で充実した語らいができました。さらに交流の輪を広げていきたいと思えます。



KIT 交流サロンでの様子

● ホームページに新たな情報を掲載しました

センターHPの「女性研究者支援」のページに、女性研究者や若手研究者、大学院生向けの研究公募情報と女性研究者支援や男女共同参画推進に関する他大学や関係機関のイベント情報を新たに掲載しました。どうぞお役立てください。

URL <http://www.sankaku.kit.ac.jp/>

トップページ



女性研究者支援

→ 「研究公募・助成」

→ 「学外セミナー・イベント」



● 講演会・研修会参加報告

女性研究者支援や男女共同参画推進に関する講演会や研修会に、センターのコーディネータが参加しました。

- ・「男女共同参画推進のための講演会」（滋賀医科大学 H25.4.17）
- ・「女性活躍推進フォーラム」（滋賀県 H25.5.20）
- ・「介護と仕事の両立のために企業ができること」（京都市 H25.6.5）
- ・「女性相談研修—男女共同参画をめざす相談事業のあり方—」（大阪府 H25.6.6）

インフォメーション

セミナー予告

今秋、男女共同参画推進センター主催のセミナーを開催いたします。（9/19、10/18、11/8 開催予定）

イクメン・ケアメンをテーマにしたもの、また理系のキャリア形成をテーマにしたものなど、企業、大学、研究所などでご活躍の方々を講師にお迎えします。詳細は、チラシやホームページなどでご案内いたします。どうぞご期待ください。

職員紹介

センターに、平成 25 年 4 月より久米事務補佐員が配属されました。教職員のみみなさまの仕事と生活の両立のお手伝いをしていきます。よろしくお願ひします。

～応援します！研究と生活の両立～ ◇◇京都工芸繊維大学 KIT 男女共同参画推進センター◇◇

住 所 〒 606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町 京都工芸繊維大学 2 号館南棟 1 階 134 号室

TEL・FAX 075-724-7757（内線 7757）

Eメール sankaku@kit.ac.jp ホームページ <http://www.sankaku.kit.ac.jp/>